

1. 開会

①序文朗読:CO 運営委員

②伝統朗読:CO 運営委員

③出席者の自己紹介

・副議長

・CO 運営委員議長サポート担当 1名

・CO 運営委員 11 名

・CO 職員 2 名

・CO 委員(以下グループ名のみ)

南部G、浦安 G、上州 G、赤羽 G、旗の台 G、調布 G、ぴのきお G、連雀 G、シャローム中野 G、柏 G、蒲田 G、府中 G、本郷東大前 12 ステップ G、蒲田 G、千代田 G、東京たわ-G、京浜 G、相模大塚 G、港北 G、川越 G、田町 G、出会いの里 G、永井坂 G、狭山 G、谷中 G、上尾 G、湘南 G、わたらせ G、西新宿 G、上石神井 LS_G、さきたま G、新宿 UNITED_G、巣鴨 Twelve StepsG、川口 G、西八 G、杉並 G、世田谷 G、永福 G、喜楽 G、南浦和 G、さざなみ G、恋ヶ窪 G、国分寺 G、南のミラクル G、むさしの G、埼玉ひまわり G、パラダイス G、昭島つつじが丘 G、エンジョイ G、ウェルカム G、ときわ台 G、

・書記

さきたま G

・オブザーバー

狭山 G、板橋 G、湘南 G、和み G、向島 G、大塚 G、三ノ輪 G、兵庫地区架け橋 G、兵庫地区姫路 G

・受付

ウェルカム G、千代田 G

④定足数の確認

総グループ数 264、議決権者数 59 (CO 委員+委任状 53、白紙委任 6)。

CO 委員登録グループ数(CO 連絡係は含まない) 109に対し、定足数(過半数以上)である 55 グループを超えているため、本日の集会は成立となった。

⑤開会宣言:CO 運営委員長

CO の課題について皆さんの意見を伺いながら、解決できることをしていきたい。

⑥資料の確認

1) 議事進行表

2) AA 関東甲信越セントラルオフィス 2026 年度予算(案)

3) 貸借対照表

4) 事業活動収支計算書

5) 2025 年度 CO 運営委員活動報告

6) 2025 年度下期監査未実施に関するご報告と今後の対応について

7) 「動議」提案の流れ

8) 「私たちのセントラルオフィスを健全に運営してゆくための献金について考える」(狭山Gより)

2. 役員の募集及び選挙(監事・書記役)

立候補者なし。CO 委員3年以上、地域サービスで地区委員以上の役割経験者であれば立候補可。

3. 2026年度予算承認

財務担当 CO 運営委員より説明「AA 関東甲信越セントラルオフィス2026年度予算(案)」をもとに説明。

予算案は支出から説明。2025年度の実績をもとに2026年度予算案を作成したところ、約200万円の赤字になった。COは銀行からの借入れができないので現金預金が無くなったら維持できなくなる。対策としては昨年より2割増の献金が必要。

質問:献金20%アップを各グループにどのようにPRするか?資料はCO委員宛てのため、すべてのグループには届かない。COのホームページなどを利用する方法もあるのでは?

回答:CO委員の出していないグループへも何らかの形で情報を届けられるように検討したい。

質問:支出の職員給料がアップしているのはなぜか?

回答:アルバイトを雇うことを考慮して計上した。どのような業務で何人かなどはまだ決まっていない。

質問:保守料が減っているが、何を減らしたか?

回答:印刷機が1台なくなった。

質問:CO運営委員会の活動費が上がった理由は?

回答:CO運営委員の人数が約3倍になり、交通費が増えた。会場費などの低減に努めている。

質問:収入の部にある資料の発送費の計上が間違っていないか?東関東地域で実施している分が減額されるはず。

回答:東西地域の件は聞いていたが念のために前年度の実績を基に計上した。

意見:実質費用がなく、金額が大きいため気をつけてほしい。

質問:昨年の月次報告書が出ていない。

回答:会計ソフトへ入力したデータと会計事務所からの修正を基に2025年の決算処理が終わったところ。

意見:月次報告書を送ってほしい。また、決算処理が終わったのなら水曜日を開所に戻してほしい。

回答:(CO運営委員長)去年の遅れを取り戻すため、水曜日を閉所した。決算は終了したが、今年の1、2月の分の取返しが必要。職員から運営委員には、内内で開所の連絡がある。運営委員で状況を確認するため、現時点での正式回答は控える。

質問:2024年にどれだけの献金があったのか?2割増しの根拠がない。

回答:2023年(1313万円)、2024年(1257万円)、2025年は1061万円であり減少している。

質問:支出の部で職員給与が60万円近くアップしている。アルバイトを時給1200円で2人雇い、50日分の追加が想定されるが、それで作業の遅れが埋まっていくのか?

回答:単純に差額がアルバイト費用ではなく、職員2人の残業代がアルバイトで減る。また、こういったことをアルバイトにやってもらうかも検討しており、費用は多少上下する見込み。

議決権者:53。予算案に承認:51。2/3(36)以上のため、予算案は可決された。

4. 2025年度決算報告

財務担当 CO 運営委員より報告、「貸借対照表」「事業活動収支計算書」をもとに説明。2025年度は赤字決算のため

納税は最低限の都道府県民税の均等割り額7万円(国税ゼロ)。

質問なし。

5. 2025年度活動報告

2025年度 CO 運営委員長より報告、「2025年度 CO 運営委員会活動報告」をもとに説明。

- ①毎月第2日曜日に運営委員会開催。今年度からは第1日曜日に変更。月に1回地域委員会に参加。各グループからのコミュニケーションシートへ回答。
- ②CO委員集会を2, 8, 12月に開催。CO運営委員9名選出。
- ③CO委員オリエンテーションを開催。
- ④2025年版オフィス委員ガイドブックを8月に発行。
- ⑤東関越地域・西関東甲信地域の各地域委員会、地域集会への参加、東関越地域にはオンラインで参加。COでの年間資料保管料1000円に合意。
- ⑥CO運営委員の人員不足対策として、CO ボランティア2名募集。
- ⑦現場主義、現物主義の徹底。メンバーからのコミュニケーションシートによる業務改善。CO 運営委員会に職員参加。

<2025年度に果たされなかった課題>

- ② 12ステップコールの再開。日々のヘルプコールで対応中。再開できるよう進める。
 - ②CO フェロウシップの開催。CO 運営委員(CO 委員)とメンバーとの交流の場。CO設立30周年記念の企画。
- ※CO 運営委員より補足説明あり。資料の1~7までが昨年度の活動報告。以降は、これから考えていくものです。

質問:今年度のCO運営委員とそれぞれの担当が議事録になかったが教えてほしい。また、財務チームはどのようなメンバーでどのようなことをしているのか?

回答:CO 運営委員の自己紹介とそれぞれの担当を紹介があった。

議事録にという話があったが、個人情報のため、ホームページ上ではなく定期発送物にて郵送する。CO 運営委員は立候補がないとすぐに人数が減る。CO 委員を2年経験していればCO 運営委員に立候補できるため、ぜひ立候補してほしい。 ※後者の質問への回答なし。

質問:CO運営委員会にオブザーバー参加はよくない。アノニミティの問題がある。どういった経緯でオブザーバー参加を認めたのか?

回答:現在のCOがどうなっているのかオープンにした方がいいと思い提案した。個人名が出ること、職員の給料の話のときなどは退出してもらう。COの現状を知ってもらうことが重要で、クローズドにしない方がいい部分がある。正式決定ではなく、まだ話し合いの段階。

質問:オフィスの引っ越しの検討はどうなっているのか?今年度の予算に載っていない。

回答:(CO 運営委員長)引っ越しの検討は、足が悪い、遠いなどのメンバーからの意見が発端。COの財政が厳しく、引っ越し費用を捻出できない。場所を移転してランニングコストを抑える手もあるが、立ち消えになっている。

回答:(CO 職員)先ほどの質問についての補足から説明する。現場でメンバーの皆さんからいただく意見や苦情を、CO 運営委員会の前に行われているCO 意見交換会で報告し、それをその後のCO 運営委員会で検討してもらい流れになっているが、なかなか進まないことが多い。そのため、どのように職員がCO 運営委員会に報告をしているのかを見ていただくために、一時期、東西両地域の代表の方にCO 意見交換会にオブザーバー参加をしていただいていたことがあった。でも、地域の方のご意見をうかがう場のような感じになってしまい、オブザーバー参加は中止となった経緯がある。CO の引っ越しについては、CO 運営委員会の議事録の最後に「今後の継続議題」として載っているが、この一年、CO 運営委員会で話し合っていないのが実情。

質問: 東関東地域の新しいミーティング一覧表を CO のホームページに掲載する話は進んだのか?

回答: (CO 運営委員長) 東関東地域のミーティングリストの話は進んでいない。CO 運営委員会からも問い合わせしていない。

質問: 12ステップコール委員会、COフェローシップとは何か?

回答: (CO 運営委員長) 12ステップコール委員会とは、今苦しんでいるアルコール依存症者に対し、ミーティング会場につれていくなどサポートしてくれる AA メンバーを紹介し、AA につなげる活動。コロナ以降、12ステップコール委員会は開催されていない。協力してくれる AA メンバーのリストはある。COフェローシップは、2年前にやったのでは?

回答: (前年度 CO 運営委員長) スエックでうどんフェローを開催(10名参加)。

回答: (CO 職員) 12ステップコール委員会は、CO 運営委員会の中の小委員会として始まったと聞いている。現在は、メンバーがいなかったため小委員会として活動していない。12 ステップコールに登録してくれているメンバーは性別や年代、住んでいる地域などの基本的な情報の他に、英語が得意などの情報も含めて登録用紙を提出してくれている。以前は、12ステップコール委員会のリーダーがいて、協力メンバーとの中継をしていたが、リーダーがいなくなってしまったため、活動が休止している。皆さんからせつかくご登録をいただいた情報も古いものが多いため、新たに登録をし直していただいて、紙ベースではなくデータ化できればもっとよいと思うので、そのためにボランティアがいるとよいと思う。

質問: 12ステップコール委員会が CO 運営委員会の中の小委員会であれば、今年度の CO 運営委員会でも活動は未定なのか?

回答: (CO 運営委員長) 今年度の CO 運営委員会で話し合い、担当者を決めていきたい。

回答: (CO 職員) 昨年6月に全国オフィススタッフワークショップ(=各地域の CO と JSO のスタッフの会議)でも 12 ステップコールのことを分かち合ったが、他の地域では CO のスタッフが個人的に協力メンバーのリストを持ち、直接電話でお願いしているというのを聞き、現在、関東 CO でもそのようにすることがある。その他、各グループの CO 委員に連絡し、対応をお願いすることもある。CO 委員は議決権のためだけに登録するのではなく、今苦しんでいる仲間を直接手助けすることもできるので、ぜひ登録してほしい。

6. 2025年度 下期監査報告

CO 運営委員長より報告、「2025年度下期監査未実施に関するご報告と今後の対応について」をもとに説明。

昨年8月に監事が任期途中で退任し、それ以降、監査を実施できていない。前年度はみらい会計により会計帳簿に基づいた決算報告書が適正に作成されております。会計については一定の担保がされてはいますが、一方で業務監査はできていない。今後は監事を選出し、監査を実施し、透明性を重視した開示をできるようにする。

先ほどの監事選出選挙でも立候補者が出なかったため、次回の監査も実施できない。監事は選挙での選出が必要。次回は8月選挙のため、仲間を推薦するなど協力してほしい。

質問なし。

※CO 運営委員より補足説明あり。次回の第2回 CO 委員集会の日程を8月23日(日)に決定した。100~150名程度の会場が必要なため、メンバーの皆さんにご協力いただきたい。心当たりのある会場があれば、CO 運営委員会に教えてほしい。その次の第3回 CO 委員集会の日程も12月27日(日)に決定している。皆さんのスケジュールも空けておいていただくとありがたい。

7. ワークショップ

①CO の役割

CO 運営委員より説明。「セントラルオフィス委員ガイドブック」(=CO のホームページからダウンロードできます)に

オフィスの役割あり。今苦しんでいるアルコール依存症者にAAメンバーを紹介。電話や郵便での問い合わせに対応。最新のミーティング案内。報道機関への対応。学校、地域社会からの問い合わせに対応。BOX-916を発送。12ステップコール届出用紙の保管。催し物を案内など。

②CO 職員の日常

CO 職員より説明、「AA 関東甲信越セントラルオフィスご案内」(=CO のホームページからダウンロード可能。三つ折りのリーフレット)の「AA 関東甲信越セントラルオフィスとは」をもとに説明。

1)本人への対応

CO はAAにつながるための最初の窓口のひとつ。お酒をやめたい・やめられるとは思っていないけれど助けを求めたい人から問い合わせがある。「私も最初はお酒をやめたいとは思っていなかった」など、自分自身の経験を話すこともある。最初は声が固かった人も最後は柔らかくなる。電話は10～15分程度。COは相談業務ではなく、AAの説明やAAのミーティング会場の案内をしている。

私たち職員も自分自身の経験から、仲間を信じている。ミーティング会場に行けば、仲間が温かく迎えてくれると知っているから、わからないことは会場で仲間に聞いてみてください・みんな親切に教えてくれますよと伝えている。飲んでしまっただけでミーティングに行けないという電話もある。スポンサーがないという電話もある。今12ステップコール委員会が活動していないので、職員が、事前に許可をもらった仲間の連絡先を教えることもある。そういう人がわからなければ、CO 委員に連絡することもある。皆さん、親身になってサポートしてくれて、本当に感謝している。当事者だけでなく関係者からもミーティングに参加してみたいという連絡もある。先ほどもお伝えしましたが、CO 委員やCO連絡係登録は、今苦しんでいる仲間を直接手助けすることにもなるので、ぜひ、まわりの皆さんにもお声がけいただき、登録してほしいです。

2)家族への対応

オープンミーティングとクローズドミーティングの違いを説明している。家族には家族をサポートしてくれる団体を紹介している。

3)専門家との協力

AAができることとできないことを説明する。AAのサーベイを渡す。今は「広報セット」というものはないが、代わりになる資料を渡している。専門家からAAを紹介したいという依頼もある。間違った情報を載せている団体もあり、訂正依頼をすることもある。

4)グループメンバーとの連絡

ミーティング情報の変更など、東関越地域・西関東甲信地域内のすべてのグループの対応をしている。最近では、有志ミーティングも増えた。問い合わせをすることもあるので、COにご連絡をいただく際は、必ず電話番号も記載してほしい。まだAAをよく知らない方への対応をより十分に行えるように、ご協力をお願いします。わからないことがあれば、グループの仲間に聞いたり、隣のグループに聞いたり、まわりの仲間にも相談してみてください。自分のグループだけではなく、隣のグループはどうかな?とか、自分の地区はどうかな?と見ていただけるといいかなと思います。

5)JSOからの書籍の受託頒布

昨年は、メダルや書籍の注文を1,057件発送。(※イベント用書籍 25件含む)

内訳は、東・西両地域内のグループ等へ 535件。他地域のグループへ 131件。個人宛のもの 391件。

(※注文キャンセル等での売掛解除 11件あり)

質問:献金は郵便局からの振り込みだけではなく、COに持参することも可能なのか?

回答:(CO 職員) 可能です。レジでお預かりし、レシートを発行します。銀行等の振込手数料がかかりません。

【 追記 】 献金を持参される際は、できるだけ小銭を紙幣にさせていただきますようご協力をお願いします。

質問:午前中事務対応。午後仲間対応。職員2人ではてんてこまいではないのか?

回答:(CO 職員) オフィスの開所時間は12:00～17:30であるが、一般企業の社員と同じく10:00～18:00の8時

間労働。午前中にWEB、書類、メール、FAXのチェックし、午後に電話対応する。職員が1人のときは電話が2つなると大変で、お昼が取れないときもある。経理業務は他の業務と並行しながらでは難しいため、残業、休出等で対応している。

質問:優先順位が高いのは今苦しんでいる仲間間違いない。グループメンバーからの問い合わせとして、オフィスに聞かなければならないこともある。それを各地域、地区に聞くと、対応がまちまちになるため、CO運営委員と調整し、全体に発信することはできないか？

回答:(CO職員) 上記は必要。それに加え、CO集会のことをグループに伝えてもらい、グループの地区委員さんから地区レベルで話してもらい、隣のグループに伝えるなど、横のつながりも持ってほしい。

質問:一年間の発送件数が1046件あるが、関東のグループ以外にも他地域のグループなどへもあるのか？

回答:(CO職員) 書籍の頒布収入は各地域のCOの財源にもなるので、書籍頒布をしていない東北と中部北陸地域のみ書籍のみの注文も受けている。
メダルの頒布は、関西と関東しか取り扱いがないので、すべての注文を受けている。
同時にメダルと書籍の注文があれば、すべての地域や個人の方からの注文を受けている。

質問:一日の電話対応はどのくらいの件数か？

回答:(CO職員) 日によって、まちまちで、全く電話の鳴らない日もあれば、次から次へと電話対応をする日もある。電話の件数は数えていない。

質問:メールは何件あるか？

回答:(CO職員) たとえば、公式アドレスの場合、週明けの月曜日に出勤すると200件くらいメールが届いている。そのうち、自動で振り分けられている迷惑メール150件くらい削除する。残りのメールをチェックして、ホームページへの掲載依頼のメールは原稿専用アドレスの方へ転送したり、書籍やメダルの注文メールは印刷して、所定の場所にファイリングする。様々なお問い合わせのメールもあるが、AAが初めてという方からミーティングに参加したいというような相談のメールは1件くらい。
コロナの前は、COに来所されて、直接、書籍やメダルを購入する方が多かったが、今は、来所するための交通費より送料の方が安いという方も多く、書籍やメダル注文の発送件数が増えた。発送件数は多いが、ホームページへの掲載依頼の原稿を読み解くよりもシンプルな作業なので、職員にとっては頭を休める癒しの時間でもある。

補足:(CO職員) オフィスに、ホームページ掲載依頼のメールや書籍・メダルの注文メールをお送りいただく時は、その都度、電話番号を書いてください。メールに返信する形よりも、電話で直接話した方が誤解も少なく、スムーズに対応できることが多いです。それから、注文の際の送付先は、ニックネームではなく本名を記載していただかないと発送することができませんので、ご協力をお願いします。

質問:閉所日は何をしているか紹介してほしい。

回答:(CO職員) 昨年11月から、(火)(木)の他に(水)も内勤日とさせていただいている。内勤日は、経理業務などのたまっている事務作業を優先するためなので、基本的にメールのチェックや電話対応も行なわないことになっているが、なかなか、そうできない。急なミーティングの変更・中止連絡が来ていないか気になるし、メールチェックをすれば、すぐホームページにアップしようとなる。

先日、会計事務所の担当者が決算報告のために来所された際、「以前はスタッフが5人いましたよね」と言われ、当時のことを思い出した。スタッフが5人いた時は、「かわらばん」(=紙面のミーティングやイベントの情報誌)の作成・ホームページの更新・発送業務・経理業務など、それぞれの担当者がいた。ただし、その担当者がお休みだったりすると、他のスタッフでは対応できないこともあった。今後、また業務の分担をしているのか、どのスタッフでも一通り対応で来るようにしていくのかは、これからCO運営委員会で話しあっていくと

思う。

③ CO はなぜ必要なのか？

CO 運営委員会から依頼したメンバーの話。CO は今年で33年目。最初は122グループでスタートし、今は264グループ(=142グループ増)。しかし予算が減っている。今日の午前中に予算案を承認したが、それは私たちが約束手形を発行したということ。JSOのサービスには一人300円のコストがかかるという。COも、自分がサービスできない代わりにやってくれている。今年予算が成り立つためには、1グループが1か月に3500円ずつセントラルオフィスに献金すればよいことになる。メンバーの少ないグループでも、目標に近づいていこうという姿勢が大切。

かつてセントラルオフィスにはA類のCO運営委員がいて、法的な対応や規約作りに協力してくれた。COは命が救われる場所。COはグループの小間使いではない。COは情報センターなので、正しい情報が必要。新しくつながる仲間にとって、COと連絡がとれることが不可欠。どうやればCOを支えられるのか、みんなで考える必要がある。

12年前にアルコール健康障害対策基本法が制定された。4年ごとに基本計画を作ることになっているらしい。昔は「アルコール中毒」と言っていたが、今は「アルコール使用障害」と呼ぶ。お医者さんは、患者さんを軽症・中症・重症に分けているらしい。

私たちも社会がどうなっているかを知ることが大切。ミーティングだけ開けばよいのではなく、AAの立ち位置を知ることが大切。本物のアル中だけでなく、いろんな人たちがAAを社会資源として考えられるようになった。インターネットで検索すると、COはJSOより先に出てくる。それだけCOは需要がある。

かつては、病院から退院する時はCOに立ち寄り、一冊でも本を買って帰るようにこと勧められていた。皆さんも、新しい人には、最初にCOに行くことを勧めてほしい。

COが機能するには、自分たちがまずCOに情報を伝えること。自分たちは草の根活動であり、ネットワーク活動でもある。自立は孤立ではない。私たちはひとつのつるの中において、助け合っている。ゼネラルサービスとローカルサービスは、分けられることもあるし、一緒にやれることもある。無理に分ける必要はない。互いに連絡し合うことが大切。

CO運営委員は信頼されて任されたしもべ。責任と権限をもって深く関わる人。でも、それを任せた人がいるということ。自分たちが任せたということ。CO委員も、グループから信頼されて任されたしもべ。CO運営委員会のオブザーバー参加という話があったが、参加できるのはCO委員に限ってほしい。誰でもできるということは、誰もやらなくなる。サービス構成をいい加減にしたら、サービスがぐちゃぐちゃになる危険性がある。選ぶ側がしっかりしてほしい。

④ シェアリングセッション

狭山Gメンバー「私たちのセントラルオフィスを健全に運営してゆくための献金について考える」をもとに説明。

昨年12月のCO委員集会に参加して、CO委員、CO運営委員、CO職員、その他メンバーの信頼感が無いと感じた。CO解散の提案、誰が悪いなど。献金も一部の人がたくさんではなく、グループが献金を出そうとすることが大切だと思う。

「セントラルオフィス、インターグループオフィスガイドライン」の中に、「多くのグループは一定額の献金を約束し、定期的に献金している」と記載されている。努力目標額を設定し、定期的に献金目標額を設定することは、ノルマ化ではないと思う。

一人どのくらい献金すればオフィスがまわるのか？試算したところ、1グループが1か月に3121円をCOに献金すればよいとなった。COの運営は、一人312円の献金でまわっているということ。自分のグループではビジネスミーティングの最後に、グループ献金とは別に、COへの個人献金の袋を回している。

スカラシップの考え方、みんなで少しずつがいいと思う。一人で多額よりいいと思う。

「自立—金銭とスピリチュアル(霊的)なものがあるところ—」というパンフレットには、自立と献金(なぜ任意なのか)について書かれている。グループで一項目ずつ読み合わせ、分かち合いをしてもらえば、少しずつ献金を増やしていく一助になるかもしれない。

COだけでなくJSOも支えるのも大切。自発的な献金には責任がある。グループが主体で献金を呼びかける。各地域のCOの運営体制も参考になると思う。

質問:あと何人スタッフを増やせば CO の業務がまわるのか？

回答:(CO 運営委員長) 1人増えたからいいということではなく、業務の整理、優先順位の見直しが必要。

意見:関西 CO ではホームページ作成を委員会に任せることにより、費用が20%浮いている。関東は関西よりグループ数が3倍多く、人を雇えるよう献金を増やしていくことが大切。継続してスタッフを最低保証するという考えが重要だと思う。

質問:COに所長はいるのか？

回答:(CO 運営委員長) 現在は所長代理がいるが、所長そのものは不在。

※CO 運営委員より補足説明あり。資料をグループに持ち帰るときは、グループからの提案であり、CO運営委員会の意見ではないことにご注意ください。

<今年度初めてCO委員としてCO集會に参加した方から一言>

- ・想像以上に多くの仲間が動いてくれていたと感じた。東関越地域のミーティングリストについては、8月に進展を聞かせてほしい。
- ・予算の立て方が分かるようになり、私も意見を言えるようになりたい。
- ・CO に所長がいないのはノーマルではないと意識した。
- ・COが何か分からないため、ひとつひとつ勉強していく。
- ・献金に対する考え方が明確になったので、グループに持ち帰り、できることをしていきたい。
- ・COの大きさ、有給の職員の大切さがわかった。
- ・JSO と CO の業務が被らないようにすれば忙しさが解消されるのか疑問に思った。他地域の CO が法人化したことで立ち直った話が印象に残った。

<他地域からCO集會に参加した方から一言>

- ・関西のCO集會はもめる。上品な感じがした。
- ・非常に分かりやすい集會で参考になった。関西も簡素化したい。

閉會

本日の献金額:63,372 円

※当日、上記の金額を会場でお伝えしましたが、計算の間違ひがありました。誤ったご報告をお詫び申し上げます。今後は、十分気をつけてまいります。

正しくは (午前の部の献金袋) 24,037 円

(午後の部の献金袋) 7,185 円

(会場の献金箱) 5,150 円

合計 36,372 円 でした。

献金のご協力ありがとうございました。

※今後の日程 : 2026年度 第2回 CO 委員集會 8月 23日 (日) ※ 時間会場未定

2026年度 第3回 CO 委員集會 12月 27日 (日) ※ 時間会場未定

※ 100~150名程度の会場を探しています。

お心当たりのあるメンバーは、CO 運営委員会までお知らせください。